



世界に広がる“からし種運動”のネットワーク「声なき者の友」の輪
ニュースレターVol. 40 (2021年3月発行)

イースター（復活祭）のご挨拶

2011年3月11日に東日本大震災が発生してから今年で10年。巨大津波と東京電力福島第1原発事故という未曾有の複合災害は多くの方々の暮らしと営みを無慈悲に奪い、放射能汚染からの「避難指示」は美しい故郷を放射性廃棄物の袋の山に変えてしまいました。賠償金によってバラバラに分断された町や人々もあります。直接の関係者はもちろんのこと、その周囲で苦しんでおられる数十万人の方々が抱えておられる悲しみ・痛みを風化させることなく、お一人ひとりに寄り添うにはどうした良いのか、この災害から学ぶべきものは何なのかを思いつつ、死を克服されたお方との再会を待ち望みたいものです。（代表 神田英輔）

震災から10年、ハイデガーから技術社会を考える

FVIは2011年以降、「福島未来会議」を5回にわたり開催し、今も被災牛を保護する「もーもープロジェクト」をささやかながら支援しています。そこに通底するのはエネルギーと自然環境の問題でした。原発の問題を最も早く警告したのは20世紀最大の哲学者といわれるマルティン・ハイデガーでした。曰く、「産業革命後にこの世界は、いわば尽きることのないエネルギー貯蔵庫に変わってしまった。人間はこの世界の一部ではなくなり、何らかの形で世界を利用する方法を求めて、あらゆるものを現代的なプロジェクトに徴用するようになった」。その極致が原子力のエネルギー利用だというのがハイデガーの告発だったわけです。

実は、この言説は現在のコロナ禍にも通じています。この100年、新種の感染症流行のペースは明らかに早くなっており、その理由は森林や湿地の破壊だと専門家は指摘します。たとえば生物多様性保護の科学者団体「エコヘルズ連盟」のジョナサン・エプスティン副会長は「新興感染症の75%は動物に起源があり、森林破壊によって本来の生息地を追われた動物たちが人里に押し出されて病原体を拡散させるようになった」と警告しています。ハイデガーは人間が「自分も世界の一部である」ということを忘れ、世界を客体化し、「利用可能な資源」と見るところに本質的な危機があると考えました。野放図な開発が新たな感染性ウィルス発生の温床となっていることと、原子力のエネルギー利用が福島やチェルノブイリを引き起こしたことは、実は根っここのところで繋がっているのです。

神が造られたこの世界と人間が和解する聖書理解こそ、今私たちが必要としているものではないでしょうか。世界は私たちが利用するために存在するのではあ



りません。アッシジの聖フランシスが言ったように、同じ被造物として私たちの兄弟姉妹である太陽、月、地球、動植物とともに繁栄する道を見つけなければ、人類に明るい未来は拓けないと考えます。支援者の皆様とともに、FVI はこれからも「地球とともに生きる世界観」を広げ、実践していきたいと願っています。
(陣内)

福島原発事故 10 周年：バンクーバーの友と共に聴く福島の人々のこれから

この 10 年間、バンクーバーから被災地支援に駆けつけ、「声なき者の友」の輪の訪問活動を支援してくれた友はその後、太平洋の向こうから福島の人々と大地の回復のために祈る仲間たちと共に、この時期に訪問するようになりました。昨年、今年と世界での新型コロナ感染爆発の影響でこの訪問は中止になりました。今年は、オンライン会合で 10 周年の話を伺いたいという案が浮上しました。3 月下旬で調整しています。



福島県飯舘村の放射性廃棄物

福島の方々にとって、この 10 年から見える深い意味は何だったのでしょうか。世界の人々に何を伝えたいと願っているのでしょうか。そして、これからも長い廃炉作業が続く方々に海外や県外の人々がどのように寄り添うことを願っているのでしょうか。福島県外で暮らす日本の私にとって、自らの生き方を振り返るときであることを感じます。日本社会にとって、歴史上忘れてはならない 2011 年の出来事。その出来事を起点にして、自ら、そして社会のあり方を深め、実際に変えていく作業は始まったばかりです。これから何十年も続くことでしょう。この 10 年の節目を心に刻む決意をして、祈り臨みたいと思います。
(文責：柳沢)

その他の活動（2020 年 12 月～2021 年 2 月）

万座温泉ホテル・カルチャー講演会（群馬）、豊かな命キリスト教会・礼拝（長野 Zoom）、F V I 役員会、東京武蔵野福音自由教会・英語部礼拝、クリスマスイブ礼拝、日本福音自由教会関東地区牧師会（Zoom）、練馬グレースチャペル（練馬区）で F V I カタリストがセミナー、講演、報告等の奉仕させていただきました。共に労してください。心より感謝いたします。

働きの支援、会費支払いのための送金方法

- ① 郵便振替： 口座名：「FVI」 口座番号：00180-0-300201
- ② ゆうちょ銀行、三菱 UFJ 銀行の口座もご利用いただけますので、ご希望される方はお問い合わせください。（旧・三菱東京 UFJ 銀行の名称が変更されました。ご注意ください。）

* このニュースレターは、<http://www.karashi.net/>に掲載されています。希望された方には email による配信または印刷物として郵送させていただきます。送付先、送付方法の変更、部数の追加、差し止めなど、以下の連絡先までお知らせください。

* **種資金による国際協力、カタリスト支援**など、献金をお送りくださる場合は、同封の郵便振替用紙の通信欄に、献金先の国・地域名またはカタリスト名をご明記ください。

● 「声なき者の友」の輪 事務局 email: info@karashi.net 090-3036-2776（神田）